

一般質問と答弁 ～各議員のコードから動画が視聴できます～

6月17日

住区、町会、区民センター、防災、
青木区長が解決を！

自由民主党目黒区議団・区民の会 おのせ 康裕 議員

区有施設とコミュニティの在り方

問 区民センター等、長期的視野の計画遂行に若手職員を登用し、共感と責任を共有する考えはないか問う。

区長 若手職員も含め、全庁のかつ組織横断的な検討を行っていく必要がある。

問 コロナ禍後の住区・町会コミュニティの見直しを区長の任期中に着手してはどうか問う。

区長 基本的な考え方は変えないが、私の任期中に具体的な取り組みの内容や支援の在り方について、時代に即し

た見直しや検討を進めていく。

問 複雑化、重複化した町会や住区の区割りの見直しについて伺う。

区長 今後、区有施設見直し方針と計画の改定もあることから、どのような検証が必要であるか考えていきたい。

真に区民を守る防災を実現せよ

問 目黒区民を災害から守りきれると胸を張って言えるか問う。

区長 引き続き先頭に立ち、組織的な災害対応力の向上に全力で取り組む。

子どもたちの未来のために
大人ができることをめぐろの未来をつくる会
(無所属・国民・維新) 山村 まい 議員

区有施設の効率的な活用

問 1つの区有施設を複数の所管が活用する事例は増えている。施設の所管を資産経営部にまとめることで、区有施設をより効率的に運用できるのではないかと思うが、考えを伺う。

区長 区有施設の運営・維持管理は事業を実施する所管課が行うことを基本としている。経営的な視点から資産経営部と各所管課とが連携して最適な方法を検討していく。

問 区民センター整備事業の再検討に当たって目黒川対岸の田道ふれあい館の活用も再検討し、区民センター建て替えの時期に乳幼児と保護者が過ごせる代替スペースを作れないか伺う。

区長 田道ふれあい館の構成施設の変更には東京都との協議が必要であるが、工事期間や利用実態等を踏まえて、検討をしていく考えである。

子どもが安心できる学校生活

問 障害のある子どもの保護者に対して区教育委員会として特別支援学級^{※1}や特別支援学校^{※2}の良さを伝える工夫をしてほしいと思うが、考えを伺う。

教育長 パンフレットや区公式サイト、見学会を通じてそれぞれの特色を伝えている。今後もお子さんにとって最もふさわしい就学先の選択ができるよう、正確で十分な情報提供に努めるとともに、継続的に工夫を重ねていきたい。

合理的配慮^{※3}への理解と
中小企業支援を前へ進めよ！

公明党目黒区議団 はま よう子 議員

合理的配慮の取り組みについて

問 各相談事例に対する評価指標を導入することで、障害者や家族に対する理解を深めていただきたいが見解を伺う。

区長 相談事例を障害者差別解消支援地域協議会^{※4}で検討し、取り組みのブラッシュアップにつなげている。評価指標を活用している自治体があれば参考にしていく。

中小企業支援の取り組みについて

問 中小企業センター事業を見直し、対応する人材の確保、事業者へ届く広報、中小企業に寄り添ったアウトリーチ型の支援^{※5}へ措置することへの見解を伺う。

区長 中小企業振興は極めて重要な課題である。社会経済状況をしっかりと踏まえながら、予算措置も含めて対応していきたい。

福祉の充実・働きやすい目黒区へ
不登校への対応

立憲民主・目黒フォーラム 金井 ひろし 議員

問 障害者の移動支援が不足している。シルバー人材センターを活用できないか。

区長 シルバー人材センターと相談し、ガイドヘルパー^{※6}養成研修の案内などをしていく。

問 区の職員が、新年会等において自費で参加することの是非について伺う。

区長 他区の運用状況も踏まえ、制度の必要性や制度化した場合の運用基準の妥当性などについて検討していく。

問 不登校の児童・生徒の学びの環境について、特にICTを用いての活用方法について伺う。

教育長 デジタルドリルの活用やオンライン授業など、引き続き、個々のニーズに合わせた学習活動を支援する。

給食の充実と子どもに体験の創出を！
エアコン補助を！

日本共産党目黒区議団 芋川 ゆうき 議員

問 物価高騰の中でも、食育を推進するため、区が負担する学校給食費の増額を行うべきではないか。

区長 現時点で増額する状況にはないが、今後も価格動向を注視していく。

問 子どもの権利を守るため、体験格差の実態把握と都の支援事業を使った取り組みをさらに拡充すべきではないか。

区長 既に調査を実施している。都の支援は教育委員会とも連携しながら検討し、取り組みを進めていく。

問 国民健康保険被保険者に、医療を受ける権利を確保するため、資格確認書を一律交付すべきであるが、伺う。

区長 区として適切、柔軟に対応する。

問 物価高騰に対応し、猛暑の中、命を

守るため、低所得世帯に対してエアコン設置費補助と、お米券のような直接的な支援を行うべきだが、伺う。

区長 エアコン助成やお米券配付は行わないが、一人一人の状況に合わせた包括的な支援を行っていく。

問 燃料費高騰に対応し、生活保護世帯に、夏季加算を区独自で行うべきだ。

区長 国に要望を行っていく。

問 区民から要望が多い、堆肥コンポストや電動ごみ処理機の補助創設と、園芸土のリサイクルの取り組みを目黒でも行えないか、伺う。

区長 さまざまな課題があるため、コンポストやごみ処理機に補助は実施しない。園芸土の回収事業も再開しない。

《用語解説》

※1 特別支援学級 障害や発達に応じた多様な学びの場。区では、知的障害、肢体不自由、自閉症・情緒障害の特別支援学級を設置している。

※2 特別支援学校 視覚障害者、聴覚障害者、知的障害者、肢体不自由または病弱者が障害による学習や生活の困難を克服し、自立するために必要な知識技能を身に付けるための学校。目黒区周辺には国立や都立の学校があり、教育、保健、医療、福祉、労働等の関係機関が相互に密接な連携を図り、地域の特別支援教育のセンター校としての役割を担っている。

※3 合理的配慮 障害のある方から社会的な障壁を取り除いてほしいという意味が示された場合に、負担が過重でない範囲で、その障壁を取り除くために必要かつ合理的な対応をすること。

※4 障害者差別解消支援地域協議会 障害者当事者や障害者団体、学識経験者、保健医療、法曹、商工業、教育などに関する職務従事者で構成され、区に寄せられた障害者差別に関わる相談事例のほか、障害者差別の解消や障害理解の促進に関する取り組みに対して、さまざまな立場から区に助言している。

※5 アウトリーチ型支援 自発的に申し出をしない個人事業主等に対して、公共機関などが積極的に働きかけて支援の実現を目指すこと。

※6 ガイドヘルパー（移動介護従事者） 障害者が外出する時に移動を支援する介護従事者の総称。

6月18日

これ以上信頼を失わないで！ リスク管理体制強化を



上田 みのり 議員

多発インシデントに対する認識

問 現状に対する認識、取り組むべき課題、再発防止策について、区、教育委員会それぞれに伺う。

区長 重く受け止めている。信頼回復に向け、ミスが起きにくい組織づくりを進める。

教育長 ヒューマンエラー根絶の機会と捉え、改めて指導と注意喚起を徹底

していく。

事故は多角的分析、対策はエビデンス

問 事故発生時は分析を用い報告時はその分析結果をもって、根拠ある再発防止策を行うことが必要と考えるが伺う。

区長 根本原因を追究し措置を講じる。加えてミスを経験知として組織内で共有する。

生きる力を育む 学校菜園を全ての学校に！



増茂 しのぶ 議員

子どもの居場所ともなる学校菜園

問 土に触れ野菜作りをすることは感性を育み、学びを得るとともに居場所ともなる。学校への菜園設置、地域と連携した継続性のある運営を進めてはどうか。

教育長 小・中学校を通して、植物に触れ育てることの重要性は増している。充

実した教育活動が継続できるよう、学校を支援していく。

区民農園の代替策、コンテナ型菜園

問 区民が農に親しめるよう公園の空きスペースに設置してはいかがか。

区長 中目黒公園の取り組み事例も踏まえ、区民の方々が土に触れる機会を増やせるよう、さまざまな手法を検討する。

議会のチェック機能強化と 人材活用による組織力向上



自由民主党目黒区議団・区民の会 西村 ちほ 議員

専決処分(※7)による契約変更の上限額設定

問 工事契約を結んだ後に専決処分によって変更できる金額には、上限を設けるべきだと考えるがいかがか。

区長 区有施設の大規模改修や建て替えなどを控えていることから、検討の余地がある。他自治体の例などを調査するとともに、議会の意見も聞きながら、

見直しの必要性について検討する。

民間人材の活用と人材育成

問 任期付きで登用する民間キャリア人材の経験や視点を、区の人材育成や組織力向上にどう生かしていくのか。

区長 外部人材のノウハウや視点を、広く職員に波及させ、得た気づき等を職務に生かし、組織力を向上する。

目黒区民センターは “区民”センターになれているか？



めぐろの未来をつくる会
(無所属・国民・維新) かいでん 和弘 議員

区民センターは誰向けの施設？

問 現在の区民センターは、東部地区以外の区民が訪問したくなる魅力を有さない。新たな区民センターは、近隣の区民のための場を目指すのか、それとも全域の区民のための場を目指すのか。ターゲットの明確化と機能の再選定を。

区長 全ての区民を対象とし、「未来とつながる 人とつながる 新たな自分とつながる」をコンセプトに、より幅広い区民の活動拠点を目指す。コンセプ

トの明確化、それを実現するために必要な機能と規模の選定、サービスの充実に留意し取り組んでいく。

学校図書館を支える体制の再構築を

問 学校図書館の運営を一部委託したことで、問題が噴出している。支援員の処遇改善等で学校図書館の機能強化を。

教育長 事業者定期的に状況確認を行うとともに、教員、学校図書館支援員(※8)、事業者が有機的に機能することができるよう、検討を進めていく。

多様な保育の充実と、 福祉型居住支援(※9)のステップアップ



公明党目黒区議団 関 けんいち 議員

保育事業の充実に向けて

問 休日保育を早急に事業化すべきと考えるが、所見を伺う。

区長 他区の実施状況や利用状況等を調査し、引き続き検討していく。

問 病後児保育(※10)の対象年齢を、小学3年生まで拡大すべきではないか。

区長 研究課題と認識しており、先行区

の利用実態等について調査していく。

福祉型居住支援について

問 福祉主導型の区の取り組みに、国や都が注目している。成果と課題を伺う。

区長 福祉部門と事業者団体等のネットワークとワンストップの相談支援体制を構築した。高齢者世帯の増加に伴い、一層の入居促進が課題である。

女性管理職割合、寄付金の基金運用、 授業間休みの拡大



立憲民主・目黒フォーラム 後藤 さちこ 議員

区職員の女性管理職登用状況について

問 女性管理職割合33%の目標に対しての認識と課題、今後の施策を伺う。

区長 育児や介護との両立を支援する制度の充実などにより、女性管理職の割合は増加傾向である。目標達成に向け、昇任意欲の醸成が重要な課題である。

指定寄付を基金に積み上げ有効活用を

問 「学校備品等の充実」指定寄付を基金とすることについての考えを伺う。

教育長 学校や園の意見・要望を踏まえ、寄付者の意向に沿った積立基金の創設を検討し教育環境の向上に努める。

授業間の休み時間の見直しを

問 小学校の授業間の休みを5分から10分に拡大することについて見解を伺う。

教育長 休み時間は5分間とし、40分授業と午前5時間制の組み合わせがベストミックスと考える。

母子の命を守る災害への備えを！ 保護者連絡システム(※11)



自由民主党目黒区議団・区民の会 高島 なおこ 議員

災害時における妊産婦支援体制

問 妊産婦の福祉避難所を整備すべきと考えるが、区の考えを伺う。

区長 他自治体の事例を参考にしつつ、特別なスペースの確保やニーズに応じた運営体制等について検討を進める。

助産師を活用してはいかがか。

区長 妊産婦専用の避難所の検討と合

わせて、助産師会との協定を検討する。

Home&School(※11)の機能改善

問 学校・保護者にアンケート等を実施し、システムの改善を図ってほしいがどのように取り組む考えか。

教育長 本年度にユーザーアンケートを実施し、その結果を踏まえてシステムのバージョンアップを図る。

《用語解説》

※7 専決処分 本来は議会が決定すべき事項を、区長が議会の議決に代わって決定する制度。特に緊急を要する場合や、議会を招集する時間的余裕がない場合に、行政運営の遅滞を防ぐために行われる。

※8 学校図書館支援員 学校の読書活動や学校図書館の機能の一層の充実を図るため、教育委員会が学校に派遣する司書や司書教諭免許などの資格や図書館勤務経験のある職員。

※9 福祉型居住支援 区では、低額所得者、高齢者、障害者、子どもを養育する家庭など住宅の確保に配慮が必要なかたの住まいの相談を福祉の総合相談に位置付けて、包括的な相談支援体制を構築している。

※10 病後児保育 保育園等に通っている乳幼児が「病気の回復期」にあって、集団保育が困難な時期に、保護者の仕事の都合がつかず家庭で保育する人がいない場合、専用施設で一時的に預かる保育。

※11 保護者連絡システム(Home&School) 学校・園、保護者間の連絡手段をデジタル化したもの。学校や園、教育委員会は連絡事項やアンケートなどを一斉に保護者のスマートフォンなどにお知らせすることができる。保護者は欠席連絡やアンケート回答などをスマートフォンなどにより行うことが可能。

5月7日

「目黒区議会におけるハラスメント防止指針」を策定しました



議員一人一人のハラスメントに対する意識向上を図り、迅速で適切な対応を行うことにより、議員が関わる全てのハラスメントを防止します。

